

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15107006	光と温熱の環境要因に対する生理的多型性と その適応能力	安河内 朗 (九州大学・大学院芸術工学研究院・教授)	A
<p>生活環境へのヒトの反応における生理的多型性を光環境と温熱環境で分析し、光とメラトニン合成への影響に季節差、地域差、民族差があることを見出し、ヒトが光感受性を高めるような機構を備えていることを明らかにしたことは高く評価できる。また、瞳孔反応に及ぼす照明の質の影響を見出した点も新しい発見である。こうした成果は、現代の人工的環境において照明設備やストレスの問題などに応用でき、生活改善への提言につながるものと期待できる。ただ、温熱環境についてはまだ分析が不十分で、生理的多型性や適応能を示すまでいたらなかった点が惜まれる。</p> <p>今後は仮説と方法論を再検討し、さらなる研究の展開をはかることを期待したい。</p>			